

令和3年度 公益財団法人山形県スポーツ協会 事業報告

1 スポーツ振興に関する事業

(1) 生涯スポーツの推進

① 地域体育・スポーツ協会の活性化を図った。

ア 地区体育・スポーツ協会連絡協議会への活動支援を行い、連携を図った。

イ 市町村体育・スポーツ協会と連携を図った。

② 総合型地域スポーツクラブの活性化を図るため、活動を支援した。

(2) 生涯スポーツ振興支援事業

総合型地域スポーツクラブの質的充実を支援するため、中間支援組織の整備を図った。

(3) スポーツ指導者の養成と活用

① スポーツ指導者養成講習会の開催（中止）

② 県スポーツ指導者研修会を開催した。

期日：令和4年2月26日（土）

会場：山形国際交流プラザ「山形ビッグウイング」2階大会議室

内容：講演Ⅰ「現場におけるファンクショナルトレーニングの考え方と実践」

講師：Physical Condition Yamagata やはぎ接骨院 代表取締役

矢萩 裕 氏

講演Ⅱ「ベストコンディションでベストパフォーマンス

～女性アスリートの健康支援に関する産婦人科医師からの提言～」

講師：さとこ女性クリニック 院長 井上 聡子 氏

③ 県スポーツ指導者連絡協議会と連携を図った。

(4) 普及事業の推進

① 県縦断駅伝競走大会への支援を行った。

② 県少年少女スポーツ交流大会への支援（大会中止）

③ 県高等学校体育連盟・県中学校体育連盟への活動支援を行い、連携を図った。

(5) 競技団体との連携強化と活動支援

① 情報交換を密にするなど、競技団体との連携強化を図った。

② 国体正式競技種目以外15競技に対して活動支援を行った。

(6) 競技団体活動支援事業

① 競技団体のガバナンス強化に向けて、ガバナンスコードの運用を支援した。

② スポーツインテグリティを啓発するため、広報チラシを配布した。

(7) 企業スポーツへの支援

企業スポーツの育成と活性化を図るため、「山形県企業スポーツ振興協議会」へ支援を行った。

(8) 顕彰に関する事業

本県スポーツの発展に貢献した個人・団体に対し、本会表彰規程に基づき、次の表彰を行った。（山形県スポーツ賞・山形県スポーツ協会表彰授賞式は中止）

① 殊勲賞 46名 1団体

② 奨励賞 3名

③ 功労賞 12名

④ 功労賞（ライオンズスポーツ賞） 2名

⑤ 感謝状 3名

⑤ 特別賞 2名

(9) 広報に関する事業

① ホームページの充実を図り、県スポーツ協会活動の積極的な情報の提供を行った。

- ア スポーツ協会活動を発信した。
 - イ 協賛企業、会員の募集等を行った。
 - ② 県スポーツ協会広報誌「スポーツ山形」第113号を発刊した。
 - ③ スポーツ少年団広報誌「大空に翔る」37号を発刊した。
- (10) 山形県スポーツ会館管理事業
本県スポーツ団体の拠点施設として、適切な管理運営を行った。

2 少年スポーツの振興に関する事業

ジュニアスポーツの活性化と青少年の健全育成を目標に事業を推進した。

- (1) スポーツ少年団の普及と活動の充実
- ① 指導者の育成と指導者組織の充実を図った。
 - ア 山形県スポーツ少年団指導者・育成母集団研修会を実施した。
令和3年11月13日(土) (白鷹町)
 - イ JSP0公認スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会を実施した。
令和3年10月24日(日) 39名修了 (県スポーツ会館)
令和3年11月28日(日) 96名修了 (県スポーツ会館)
 - ② 関係機関、団体との連携の充実
 - ア 市町村スポーツ少年団事務担当者会議の実施(中止)
 - ③ リーダーの養成と活動環境の充実
 - ア ジュニア・リーダースクールの実施(中止)
 - ④ 各種交流事業の充実を図った。
 - ア 山形県少年少女スポーツ交流大会の実施(中止)
 - イ 山形県スポーツ少年大会の実施(中止)
 - ウ 日独スポーツ少年団同時交流事業をオンラインで実施した。
令和3年7月25日(日)～8月1日(日) 1名参加
 - ⑤ 各専門委員会の活性化を図った。
- (2) 青少年の健全育成
- ① スポーツ活動での「フェアプレー精神」の徹底を図った。
 - ② 体罰等根絶の徹底を図った。
 - ③ 環境に配慮するスポーツマンの育成を図った。

3 競技力向上に関する事業

全国大会及び世界で活躍する選手の育成と支援を行った。

- (1) 国民体育大会及び東北総合体育大会に関する事業
- ① 第76回国体本大会及び第77回国体冬季大会の山形県予選会を開催した。
 - ア 第76回国体本大会山形県予選会兼第48回東北総合体育大会山形県予選会
主会期：令和3年7月9日(金)～11日(日) (県内各地)
参加者：38競技4,446名(令和元年度：5,063名)
 - イ 第77回国体冬季大会アイスホッケー競技会山形県予選会
開催日：令和3年10月31日(日) (福島県郡山市)
参加者：36名(令和2年度：45名)
 - ウ 第77回国体冬季大会スキー競技会山形県予選会
開催日：令和4年1月16日、18日、23日(最上町、上山市、山形市)
参加者：123名(135名)
 - ② 令和3年度国体東北ブロック大会兼第48回東北総合体育大会に参加した。
主会期：令和3年8月20日(金)～22日(日) (山形県内各地 他)

参加者：29競技620名※一部の競技は中止（令和元年度：1,083名）
③ 第76回国民体育大会（中止）、第77回国民体育大会冬季大会に参加した。

ア 第76回国民体育大会（中止）

ウ 第77回国民体育大会冬季大会スケート競技会
期 間：令和4年1月24日（月）～30日（日）（栃木県日光市）

参加者：スピードスケート競技24名
成 績：天皇杯得点52点（順位13位）皇后杯得点36点（順位11位）

エ 第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会
期 間：令和4年2月17日（木）～20日（日）（秋田県鹿角市）

参加者：76名（令和元年度：68名）
成 績：天皇杯得点53点（順位5位）皇后杯得点23点（順位5位）

④ 強化環境の整備を図るため、コーチングスタッフ及び強化指定選手を指定した。
指定者：監督・コーチ45名、選手248名

(2) スポーツ医・科学支援体制の充実

① 東北総合体育大会及び国民体育大会冬季大会等にドクター及びスポーツトレーナー等を派遣し、医・科学的サポートを行った。

② アンチ・ドーピングに関する普及・啓発の研修会を2回行った。

③ 日本スポーツ協会公認スポーツドクター及びスポーツプログラマー・アスレチックトレーナーの資格取得促進と活用を図った。

(3) 優秀指導者・選手確保事業

優秀指導者・選手をスポーツ指導員及びスポーツ技術員として確保し、本県の競技力向上を図った。

(4) 競技強化支援事業

① 競技スポーツ普及・強化のため、スポーツ関係団体が実施する事業を支援した。

② 女性アスリートが抱える心身の健康に関する相談ができる相談窓口を設置した

③ 競技団体のガバナンス強化を図るため、アスリートや指導者等のコンプライアンス教育に関する情報提供を行った。

(5) 国際競技大会出場監督・選手への激励

主要大会に派遣される本県関係者12名に激励金を交付した。

(6) スポーツタレント発掘事業への支援

将来のトップアスリート育成を計画的に実施する「スポーツタレント発掘事業」への取り組みと支援を行った。

《参 考》

1 開催会議

- ① 県スポーツ協会理事会 2回実施
- ② 県スポーツ協会評議員会 ①書面決議・②集合形式
- ③ 県スポーツ協会 各専門委員会 委員会毎随時実施
- ④ 国民体育大会結団式・監督会議 中 止
- ⑤ 国体県予選会実行委員会・運営委員会 書面決議
- ⑥ 少年少女スポーツ交流大会運営委員会 1回実施

2 出席会議等

- ① 日本スポーツ協会評議員会 オンライン
- ② 日本スポーツ協会加盟団体代表者会議 オンライン
- ③ 都道府県体育・スポーツ協会連合会総会 書 面
- ④ 都道府県体育・スポーツ協会連合会事務局長研修会 オンライン
- ⑤ 都道府県体育・スポーツ協会事務局職員研修会 オンライン
- ⑥ 東北体育・スポーツ協会連合会総会 ①書面会議・②オンライン